

在宅医療の推進方策（案）

平成37年（2025年）の地域包括ケアシステム構築に向け、在宅医療を推進
 <これまでの取組> ●H24～27年度：地域の在宅医療の連携拠点機能を形成し、研修などによる介護との連携を推進
 ●H26年度（H27.1～）：在宅医療の人材確保や質の向上、医療機関間等の連携づくりを実施
 <今後の取組> ●H29年度（予定）～：病院の退院支援機能、後方支援機能の拡充等の取組を推進
 ●H30年度～：市区町村の地域支援事業（在宅医療・介護連携推進事業）の完全実施

| 計画 | 保健医療計画 | | 第6期（H25～29年） | | | | | 第7期（H30～35年） | | | | | 第8期（H36～） | | | |
|--|---|---|--------------|--|-----|---|--|--|---|-------------------------|----------------------------------|--|-----------|-----|--|---|
| | テーマ/目標 | 項目 | 現状 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 |
| | | | 地域医療構想にて算定 | 地域医療構想（H28～37年） 2012（H24～26年） 2015（H27～29年） 2018（H30～32年） 2021（H33～35年） 2024（H36～38年） | | | | | | | | | | | | |
| 在宅医療サービスの基盤整備 (目標) 医療需要に応じたサービス量の確保 | 在宅医療等の医療需要 | | 地域医療構想にて算定 | 外来と訪問診療の関係整理 需要試算 3年毎需要見直し 需要に基づき算定 | | | | | | | | | | | | |
| | ①訪問診療を実施する病院・診療所数と訪問件数 | 病院・診療所数：2,156か所 訪問診療件数：107,714件 | | | | | 訪問診療基盤整備（導入研修、後方支援との連携ルール、訪看活用、在宅医連携） | | 初期導入支援を通じた訪問診療の拡充（訪問診療動機づけ研修、患者紹介、相談フォロー等） | 目標 機関数 2,808か所 | 事業効果を踏まえ再検討 | 目標 件数 156,560件 機関数 3,134か所 | | | | 病院・診療所3,341か所 訪問診療166,937件 |
| | ②在宅歯科医療サービスを実施している歯科診療所数 | 歯科診療所数：1,134か所 | | | | | 在宅歯科医療連携体制推進事業による連携促進 | | 在宅療養者に対する歯科医療等の拡充（人材の確保、在宅等での口腔ケア提供体制の整備、摂食嚥下障がい対応可能歯科医師等の人材育成、医科等との連携推進） | 目標 機関数 1,477か所 | 事業効果を踏まえ再検討 | 目標 機関数 1,648か所 | | | | 歯科診療所1,757か所 |
| | ③在宅患者調剤加算の届出薬局数 | 薬局数：1,340か所 | | | | | 多職種連携 無菌調剤薬局 小規模薬局連携による参入促進 | | 薬剤師訪問の拡充（人材育成、連携による休日対応、薬局の拡大等） | 目標 機関数 1,585か所 | 事業効果を踏まえ再検討 | 目標 機関数 1,769か所 | | | | 薬局1,887か所 |
| | ④訪問看護師数 ・訪問看護ステーション数 | 訪問看護師数(常勤換算):3,640人 小規模ST数：約530/887ST 土日を通常営業として届出しているSTがない地域：28/72市区町村 | | | | | 新卒・潜在看護師確保 離職予防 連携体制構築 規模拡大 機能強化（土日対応） | | 取組目標 看護師数 5,400人 | 目標 看護師数 6,400人 | 事業効果を踏まえ再検討 | 目標 看護師数 6,400人 | | | | 訪問看護師7,000人 少なくとも市区町村単位で安定した土日サービス提供体制確保 |
| ⑤在宅療養後方支援病院数（急変時受入れ、病診ネットワーク化） | 在宅療養後方支援病院数：31か所 人口規模に応じた在宅療養後方支援病院が整備された圏域：2圏域（0.4か所/圏域10万人） 地域ICT導入：16病院 多職種ICT導入：10地区 | | | | | 急変時対応等に係る病院機能の強化（退院支援加算取組推進） ICT活用による病診医療情報共有支援 | | 急変時対応等に係る病院機能の強化（退院支援加算取組推進） 病診ネットワークから介護までのネットワークの展開 | 目標 圏域数 5圏域 取組目標 73地区にICT導入 | カバー地域の評価 人口規模に応じ複数整備 | 目標 圏域数 8圏域 | | | | 整備された圏域8圏域 全地区に人口規模に応じたネットワークを構築 | |
| 在宅医療に係る人材の育成 (目標) 患者の状態に応じた質の向上 | ①専門職（医師、歯科医師、薬剤師、看護師等） 在宅看取りを実施している病院・診療所数：335か所 在宅看取り件数：555件 | | | | | 歯)摂食嚥下障がいの診断・指導・訓練 薬)無菌調剤対応育成・訪問薬剤管理 訪問看護師研修 特定行為研修受講支援 訪問看護ST従事者（J1職、事務職） がん・小児・難病・精神等の個別疾患や緩和ケア・栄養等専門的分野 | | 訪問診療のスキル向上（基本編） （診療の基本、家族ケア、看取り等） 訪問診療のスキル向上（医療的ケア編） ・高度な看護能力向上（認定看護師、専門看護師、特定行為研修受講など） | 目標 機関数 436か所 | 訪問診療のスキル向上（医療的ケア編） | 目標 件数 807件 機関数 487か所 | | | | ニーズに応じたサービス提供の人材確保 在宅看取りを実施している病院・診療所519か所 在宅看取り860件 | |
| ②退院支援担当者（退院支援加算病院数） | 退院支援加算を算定している病院・診療所数：232/530か所 | | | | | | | 病院の退院調整機能の強化・指導者育成 | 目標 機関数 274か所 | | 目標 機関数 306か所 | | | | 退院支援加算を算定している病院・診療所327か所 | |
| ③在宅医療の普及啓発 | 府民の在宅医療の認知度：調査中 | | | | | | | 医療や介護職への理解促進（受講後、研修者による普及） | | | | | | | | |
| 在宅医療・介護連携推進事業 | (ア) 医療・介護資源の把握 (イ) 連携の抽出と対応策の検討 (ウ) 切れ目のない体制の構築 (エ) 情報共有の支援 (オ) 連携に関する相談支援 (カ) 関係者の研修 (キ) 住民への普及啓発 (ク) 関係市区町村の連携 | 介護支援連携指導料を算定している病院・診療所数 ●か所 介護支援連携指導料算定件数：20,031件 | 府役割 | | | | ICT活用による介護・在宅医療情報共有支援 再掲) 訪問診療の基盤整備（導入研修、後方支援との連携ルール、訪看活用、在宅医連携） 地域医療資源の把握 | | 広域的支援 （二次医療圏・市町村間医療連携（円滑な入退院・在宅移行の促進） 人材育成（相談員等） | 目標 機関数 ●か所 | 事業効果や医療側の課題を踏まえ再検討 | 目標 件数 29,115件 機関数 ●か所 | | | 介護支援連携指導料を算定している病院・診療所 ●か所 介護支援連携指導料算定31,044件 | |

地域包括ケアシステム構築に必要な在宅医療の提供